

ほうれん草の無肥料による比較検証

株式会社 大和バイオテック

ほうれん草の無肥料による比較検証

〈方法〉

①ほうれん草の種に大和培養液C1,000倍希釈水を浸水させ、一晩置いた(試験区用)

②ほうれん草の種に水を浸水させ、一晩置いた(対照区用)



A区B区のプランターに培養土を入れ、大和培養液C1,000倍希釈水を灌水した

C区D区のプランターに培養土を入れ、水を灌水した



試験区(A区B区)のプランターに①の大和培養液Cを浸水させたほうれん草の種を撒いた

対照区(C区D区)のプランターに②の水を浸水させたほうれん草の種を撒いた

【進捗状況① 播種(種まき)】

播種日:2022年9月29日

区画名	実験条件
A区 ほうれん草 (試験区)	大和培養液C1000倍希釈液(初回のみ灌水) 大和培養液Cを浸水させた種
B区 ほうれん草 (試験区)	大和培養液C1000倍希釈液(初回のみ灌水) 大和培養液Cを浸水させた種
C区 ほうれん草 (対照区)	水を灌水 水を浸水させた種
D区 ほうれん草 (対照区)	水を灌水 水を浸水させた種

2022年9月28日 浸水させた種



2022年9月29日 種まき



【進捗状況② 発芽】

2022年10月5日(播種から7日目)

試験区



全体に発芽が観られる



所々まばらであるが全体に発芽が観られる

対照区



発芽がまばらである



発芽がまばらである

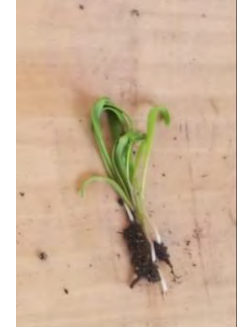
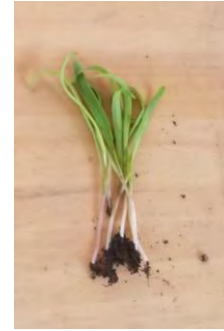
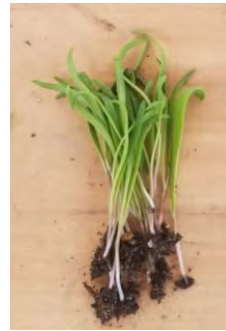
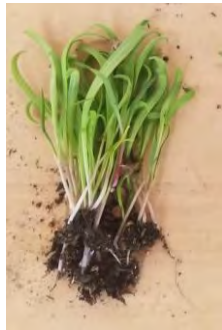
・ 試験区の発芽数は、対照区と比べて差がでている

【進捗状況③ 1回目の間引き】

2022年10月11日(播種から13日目)



3cm間隔に間引き

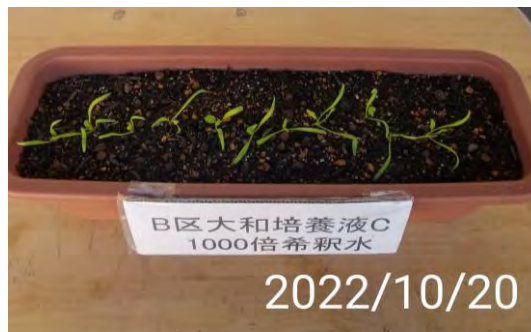
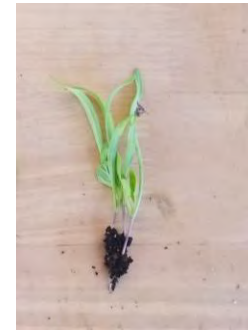
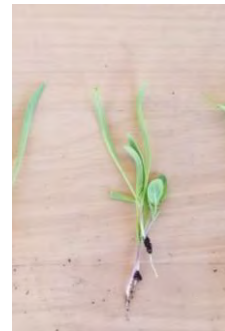
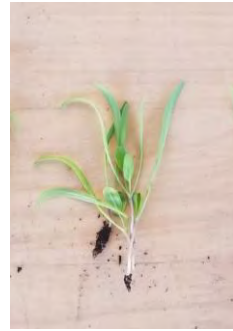


- ・ 対照区と比べて、試験区の間引きで抜いた苗は大きく、間引きの数も多い

【進捗状況④ 2回目の間引き・葉面散布】

2022年10月20日(播種から22日目)

5cm間隔に間引き



試験区A・B区に大和培養液C1000倍希釈水を葉面散布した。

2回目の間引きも1回目の間引き同様、試験区の方が間引きの数が多い。



試験区と対照区を同条件にするため、9株と7株に間引く(A区・C区:9株、B区・D区:7株)

【進捗状況⑤ 生育状況】

2022年12月12日(播種から46日目)



株数: 試験区A: 9株
 茎葉数: 83本
 (けいようすう)

試験区B: 7株
 56本

対照区C: 9株
 68本

対照区: 7株
 47本

試験区は、対照区と比べて**成長し、
 茎葉の数も多い。**

【茎葉数の平均】

【比率】

試験区: 8.7本
 対照区: 7.2本

試験区が**120.8%増**

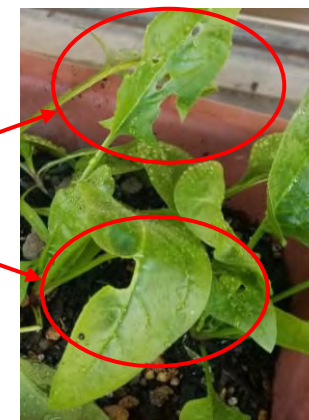
対照区に**虫食い**が発生した。



試験区



対照区



【進捗状況⑥ 収量比較】

2022年12月21日(播種から55日目)



株数: 試験区A: 9株
重量: 試験区A: 89g

試験区B: 7株
試験区B: 61g

対照区C: 9株
対照区C: 63g

対照区: 7株
対照区: 52g

試験区の収量は、対照区と比べて**132.7%増**になった。

試験区総重量: 150g 対照区総重量: 113g